

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

71

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	コミュニティバス運行事業					
予算科目	2 款 1 項 12 目					
予算事業名	交通アクセス対策費					
総合計画での位置づけ	便利な都市環境をつくる					
担当課	魅力づくり推進課		担当課長	川上 克彦		
事業担当者	安部 憲一郎		一次評価者	西村 勝		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	町民					
事業の目的	町民の買い物や通院といった、普段の生活における交通手段の確保及び交通弱者の利便性の向上を図るため、町内における路線バス等との地域公共交通ネットワークの確立と交通空白地の解消。					
実施期間	開始年度	平成 23 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	デザイン性に富んだポンチョタイプのバス2台(定員24名、33名)で、トリアスから篠栗駅をつなぐ幹線系統とミニバンタイプのバス2台(定員12名)で町内を巡回する便を有料(100円)にて運行。平日最大85便運行。運行形態については、地域公共交通活性化協議会を開催し、改善等を実施。					
目的達成の指標	コミュニティバスの利用者数					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目標	人	11,000	98,279	120,000	120,000
	実績	人	16,006	145,035		
指標設定の考え方	利用者が増えることは、利用者のニーズに沿った公共交通の提供となり、住民の生活の利便性向上に繋がると考えるため。					
事業遂行時懸案事項等	平成31年4月からバスを4台体制に増車し、路線及び便数についても増設し運行している。大幅な公共交通体系の変更のため、町民にとって利便性の高い運行内容となっているのか、また西鉄バスやJR篠栗線との乗り継ぎが円滑に行えているのかなど、利用状況及び利用者へのヒアリング等を通して検証していく必要がある。					
事業実施時懸案事項対応等	○イコバスに関する利用者等からの要望について全て記録し、内容について改善可能か検討を行なう。 ○利用状況と利用者からの意見等を踏まえ、令和元年3月に運行ダイヤ、運行ルート、バス停の移設等の改善を行なう。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 6,090 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.13	0.13	0.13	0.13
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	955	982	927	927
事業費	直接事業費	27,067	57,858	60,727	60,727
	人件費	955	982	927	927
	合 計	28,022	58,840	61,654	61,654
財源内訳	国庫支出金	3,379	4,255	2,600	2,600
	県支出金				
	地方債				
	その他	360	360	360	360
	一般財源	24,283	54,225	58,694	58,694
	合 計	28,022	58,840	61,654	61,654

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	27,067	57,858	60,727	60,727	60,727
実 績	18,825	53,347			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
運行事業者(協和タクシー)との協議	回	2	3		3
		4	6		
利用者のニーズ把握調査	回	1	1		1
		1	2		
観光イベント時にアクセス手段として印刷物に掲載	回	3	3		2
		3	2		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 4,300 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.15	0.13	0.15
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	1,078	982	1,183
事業費	直接事業費	18,825	57,858	53,347
	人件費	1,078	982	1,183
	合 計	19,903	58,840	54,530
財源内訳	国庫支出金	3,633	4,255	7,553
	県支出金		0	8,436
	地方債		0	
	その他	360	360	610
	一般財源	15,910	54,225	37,931
	合 計	19,903	58,840	54,530

実施備忘録

自己評価 評価者 安部 憲一郎

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

鉄道のない当町においては、バスでの移動は大変重要な交通手段となっており、特に平成31年4月からは、一部運行見直しとなった西鉄バス路線の代替交通として運行しており、町民の移動手段として重要性が増している。

運行内容としては、他の路線バス(JR九州バス、西鉄バス)やJR篠栗線と接続していることや、交通空白地等の移動手段に困っている地域での運行も担っていることから必要性が高い。

利用者への満足度調査においても、90%以上の満足度をえていることから有効性も高いと言える。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

今回は大幅な公共交通体系の改正であったため、それまでの西鉄バスの利用状況及び利用者へのアンケート調査結果等を基に改正案を検討し、久山町地域公共交通活性化協議会で協議しながら改正内容を決定していった。

改正後の利用状況については、年間の利用人数から見ると約14万5千人と当初予定していた約9万人を大きく上回る結果となった。また、ダイヤ等に関して利用者から要望等はあるものの、利用状況からみて一定の利便性は確保できていると考えられる。

今後も、利用状況及び利用者へのヒアリング等を実施し、事業の目的に沿ったものかについて検証していく必要がある。併せて、まだ利用したことのない方やイコバスのことを知らない方などに利用モデルなどを示すなどして利用促進の働きかけを行う。

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

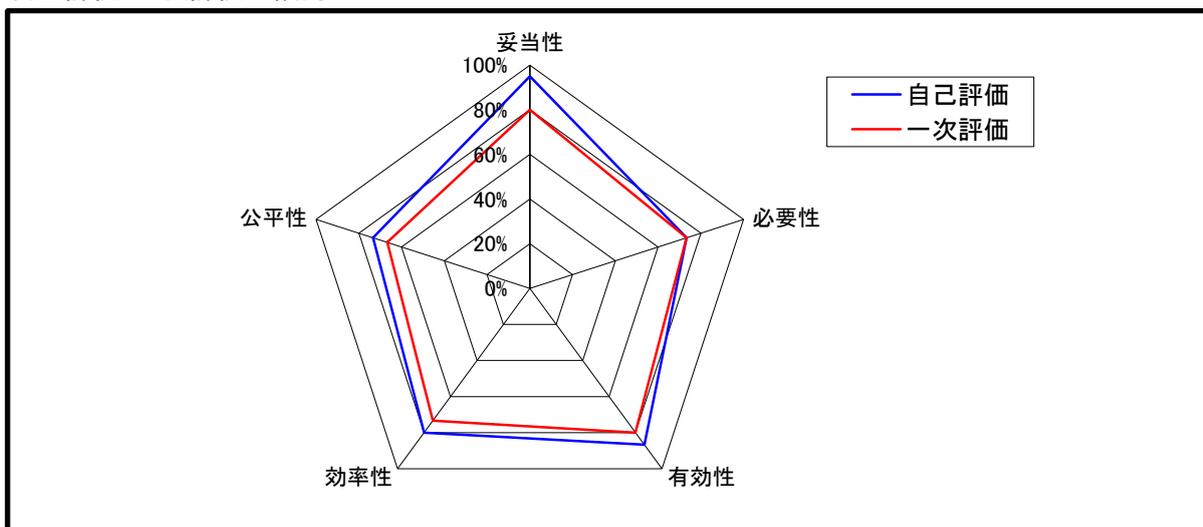


見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

利用者数については、新たな交通体系の初年度としては、一定の効果は得る事ができていると考える。今後は、今年度の利用者のアンケート調査の結果やバス停利用者数や時間帯別の利用状況を踏まえ、利用者のニーズにあったダイヤの見直しを実施する。又、収入増のために、バス内の広告収入の増加について力を入れていく必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	川上 克彦
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

本年度については、概ね満足できる結果であった。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

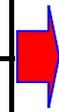
一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

外部評価

<table border="1"> <tr> <th style="background-color: #ffffcc;">今後の方向性</th> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了 </td> </tr> </table>	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了		<table border="1"> <tr> <th style="background-color: #ffffcc;">見直しの具体的内容</th> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他 </td> </tr> </table>	見直しの具体的内容	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc; writing-mode: vertical-rl;">評価</td> <td style="font-size: 48px; font-weight: bold;">A</td> </tr> </table>	評価	A
今後の方向性									
<input checked="" type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了									
見直しの具体的内容									
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他									
評価	A								

外部評価委員の意見

○評価
 利用者のニーズに応じ、計画どおり事業が実施されている。持続可能な公共交通を目指すために、更なる事業の発展を図ることが適当である。

○課題
 運行に多額の費用がかかる。

○提案
 ・ダイヤ改正やバス停の環境整備、無料WI-FIの設置など利用者のニーズに沿った利便性を向上させる取り組みを検討する必要がある。
 ・事業のPRIになる取り組みを検討する必要がある。
 ・広告など収益を上げるための取り組みについて積極的に検討する必要がある。

経営者会議

経営者評価	町長
--------------	----

<table border="1"> <tr> <th style="background-color: #ffffcc;">今後の方向性</th> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了 </td> </tr> </table>	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了		<table border="1"> <tr> <th style="background-color: #ffffcc;">見直しの具体的内容</th> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他 </td> </tr> </table>	見直しの具体的内容	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc; writing-mode: vertical-rl;">評価</td> <td style="font-size: 48px; font-weight: bold;">A</td> </tr> </table>	評価	A
今後の方向性									
<input checked="" type="checkbox"/> A重点化 <input type="checkbox"/> B現状のまま維持 <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E事業完了									
見直しの具体的内容									
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他									
評価	A								

経営者会議の評価

本事業は、西鉄バス路線の代替交通として、町外の鉄道駅等への乗り継ぎを可能にするなど、便利な都市環境を作る上で重要な役割を果たしている。
 今後も、持続可能な公共交通を実現するために、利便性の向上と運行経費のバランスを見極めなくてはならない。
 引き続き、社会の変化や利用者のニーズに即した地域公共交通のあり方を協議会で検討し、更に周知方法等を工夫することで利用者増加を目指す。
 あわせて、運賃収入以外の収入源となる取り組みを実施することで、財政負担軽減を図る。

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

持続可能な公共交通の実現のため、利用者の確保と、運賃収入を含めた収益の増進について取り組む必要がある。
 毎年1回実施している利用者アンケートを引続き実施し、より利用者のニーズに即した運行に努める。また、イベントや、町のホームページ等を用いて、町内主要施設へのアクセス情報や、運賃支払のキャッシュレス決済導入を紹介する等、利便性についての周知強化を図り、更なる利用者の増加を目指す。
 あわせて、バス停ネーミングライツや、バス車内広告掲載企業の新規獲得を試み、広告収入による収益の増進に努める。